

結核症

斎藤茂吉

青空文庫

おなじ結核性の病で歿した近ごろの文学者でも、やはり行き方に違ふところがあるやうに思ふ。正岡子規とか国木田独歩とかを一つの型かたと看做みなせば、高山樗牛ちよぎうとか綱島梁川つなしまりやうせんとかは又一つの型のやうに思はれる。

総じて結核性の病に罹ると神経が雰かか銳しゆんえいになつて来て、健康な人の目に見えないとこども見えて来る。末期になると、病に平氣になり、呑氣のんきになり、将来に向つていろいろの計画などを立てるやうになるが、依然として鋭い神経を持つてゐる。それであるから、健康の人人が平氣でやつてゐることに強い『厭味』を感じたり、細かい『あら』が見えたりする。

正岡子規なんかは、三十六歳の若さで死んでゐるが、やはりその『厭味』といふことが強く身に答へたものらしい。現在の私はもう子規よりも十年生きのびてゐるが、いかにしても子規よりも甘いところがあり、厭味から脱することが出来ない。子規も病気になるまへには露伴の風流仏ろはん ふうりうぶつなどに傾倒したこともあり、西鶴さいかくばかりの文章なども書いたのであつたが、晩年の隨筆では、当時、露伴が非常に骨折つて書いた「二日物語」の文章をば貶けなしてゐる。

子規の隨筆「墨汁一滴」には、『露伴の二日物語といふが出たから久しぶりで読んで見て、露伴がこんなまづい文章（趣向にあらず）を作つたかと驚いた。それを世間では明治の名文だの修辞

の妙を極めて居るだと評して居る。各人批評の標準がそんなに違ふものであらうか』。かう子規が云つてゐる。子規が写生文を創め、細かく平淡なものを書いてゐた時であるから、「二日物語」の文章に厭味を感じたのであらうか。

子規のものは、センチメンタリズムから脱却してゐるが、感慨が露はでなく沈痛の響に乏しいのは、単に俳人としての稽古から來てゐるのでなく、疾病から來てゐるのである。このへんが芭蕉のものと違ふ点であつて、子規は芭蕉の句にも随分厭味と思はせぶりとを感じてゐるのである。このへんの事は私にはなかなか面白い。

独歩も、もとは甘い恋の新体詩なども作つたのであるが、それ

がだんだん除かれて行つた。子規ほど病牀生活で苦しまなかつただけ、呑氣ではなく、鋭いところが未だ消えずにある。石川啄木たくほくなどでもやはり同じ径路を取つてゐる。

そこに行くと樗牛とか梁川などは、趣が違ふ。「我が袖の記」から「清見鴻の記」になると余程平淡になつて来てゐるが、やはり感慨が露あらはに出てゐる。前二者の客観的なのに較べて主観的であり、抒情的である。樗牛がニイチ工から日蓮に行つて、アフォリスメン風の文を書いてあるとき、梁川は莊重で佳麗な見神の文章なんかを書いてゐる。是等これらはおなじく、神經の雋銳になつたための一つの証候であるが、これは氣稟きひんに本づく方嚮はうかうの違ひであると謂つていいだらう。樗牛でも梁川でも若くて死

んであるが、健康な人には出来ない点がやはり存じてゐる。

森鷗外が、『遺言には随分面白いのがあるもので、現に子規の自筆の墓誌^{など} 抱も 愛^{あい} 敬^{きやう} が有つて好い。樗牛の清見渴は崇高だらうが、我々なんぞとは、趣味が違ふ』云々と云つたのは、たいへん面白い。子規の墓誌は簡明な履歴で、日本新聞社員タリ月給四十円などと書いた文章をいふので、樗牛のは、有名な『吾人はすべからく現代を超越せざるべからず』をいふのである。

若し結核性の病で倒れずに、病に罹りながら五十年も文学者的活動を続けられるものならば、興味あることに私は思ふが、佳境に入れば死んでしまふし、癒つてしまへば平凡になつてしまふからやはり駄目である。

青空文庫情報

底本：「斎藤茂吉選集 第八巻」岩波書店

1981（昭和56）年5月27日第1刷発行

初出：「隨筆」

1926（大正15）年10月

入力：kamille

校正：門田裕志、小林繁雄

2005年1月7日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

w.aozora.gr.jp/) で作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

結核症

斎藤茂吉

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>